

# 平成 29 年度事業報告

平成 30 年 3 月 31 日

公益財団法人東京陸上競技協会  
理事長 中野 人志

## 平成 29 年度 公益財団法人東京陸上競技協会 事業報告

当法人は、設立当時から一般団体、社団法人、一般社団法人、一般財団法人と団体の形は変わってきたが、社会のニーズに合わせて、東京都のスポーツ文化振興の推進役として、その責任の大きさ・必要性和役割を認識しながら諸事業を推進してきました。

平成 29 年度は、6 月に役員改選が行われ、新しい役員構成で定款に掲げている事業とともにさらに、陸上競技を通じて都民のためのスポーツ界の事業振興を進めてきました。

とくに東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けた気運が高まり、競技会場確保が困難な中で、事業計画に策定された陸上競技大会を確実に実施してきました。

一方、財政基盤をより強固なものにするために、新規事業の開拓や各種大会収支の改善により経常収益の増加を図るとともに、大会運営などの諸事業実施において負担が大きい経費費用の削減に取り組んできました。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向け、組織委員会や日本陸連と協議を重ね、競技場内競技役員を選出し、国際審判員（NTO）に向けた準備を始めましたが、練習場、道路競技等の役員については、具体的な事項を明確にするため、組織委員会・日本陸連との協議を活発化させました。

### 1 競技会運営事業及び選手団派遣事業

東京都における陸上競技の発展と都民の心身の健全な発達に寄与する目的で、小学生から成人まで幅広く参加を呼びかけ、都内の陸上競技場及びマラソンコース等において陸上競技会、スポーツイベントを開催しました。

#### (1) 陸上競技大会の開催

平成 29 年度は、主催大会として、東京陸上競技選手権大会、全国小学生東京代表選考会、国体代表選考競技会、東京ジュニア、元旦競歩大会の大会運営・競技運営を実施しました。上外部と共催・主管・後援競技会として、東京中学校春季競技会、ジュニア陸上・チャレンジカップ、都民大会、柴又 100K、東京都障害者スポーツ大会、東京 2020 を見据えた未来への道 1000K 縦断リレー、全国高校定通制大会、味スタ 6 耐、世田谷 246 ハーフマラソン、駒澤 6 耐駅伝、京王駅伝、新宿シティーハーフマラソン、青梅マラソン、東京マラソン、立川シティーハーフマラソン、板橋 City マラソン等の競技会、スポーツイベントの運営協力・競技運営・審判員派遣等を行ってきました。

さらに、本年は、日本 GP TOKYO Combined Events Meet 2017 (日本 GP 混成)、日本パラ陸上競技選手権大会、東京女子陸上改め東京 Women's 2017 等の開催により、全国大会の競技運営、審判運営を担うようになり、重要な役割に各主催団体からの期待に応えてきました。

また、加入団体が主催・主管する開催大会も 200 を超すまでになってきましたが、限られた条件に応えながら、多くの競技役員を大会運営に派遣し協力してきました。

## (2) 陸上競技大会への選手団派遣

全国的な競技会に東京都を代表する選手を派遣し、競技者に陸上競技の喜びを経験する機会と、競技者相互の交流を深めることと共に、東京都における競技活動の活性化を図る目的として、次の大会に選手を派遣しました。

- ①第 72 回国民体育大会「愛顔（えがお）つなぐ えひめ国体」
- ②天皇盃 第 23 回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会
- ③皇后盃 第 36 回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
- ④第 33 回東日本女子駅伝競走大会
- ⑤第 48 回ジュニアオリンピック陸上競技大会

## (3) 競技力向上事業の推進

平成 29 年度も、小学生から社会人まで競技者の目的に応じ、小学生は他の道県との交流大会へ参加、合同練習会、強化合宿等を実施、中学生、高校生は合同練習会、強化合宿などを開催・実行して、愛媛国体において男女総合、女子総合ともに第 2 位の成績を収め成果をあげました。しかしながら、駅伝においては、天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走大会、皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会は、ともに上位入賞を果たせず課題を残したことを踏まえ、次年度における選手強化に注力いたします。

東京都のスポーツ水準の向上を図るため、国民体育大会等の東京都代表候補選手や次代を担う有望なジュニア選手の競技力向上を目的として「競技力向上事業」及び「ジュニア育成推進事業」として次の事業を実施しました。

- ② 強化練習会、合宿等
- ②体験教室、練習会等のジュニア育成推進事業

## (4) 指導者・審判育成事業

安全で正しく楽しいスポーツができるように、地域のスポーツ組織での競技の専門的な技術者の養成と日本陸連の公認審判員の育成ならびに審判技術の向上を図るために、公認コーチ講習会、陸上競技指導者育成講習会、公認審判員育成講習会及び研修会を実施しました。

## 2. 日本陸連登録会員の管理

東京マラソンが成長する中で、陸連登録に職域・一般クラブの少人数構成の准会員が増えてきています。3 万を超す陸連登録者と小学生を含む幅広い人達の会員情報を整理して、運営をしました。

### 3. 財政基盤の安定の為、既存事業の拡大並びに新規事業への進出

財政基盤の強化の為に新規事業に取り組んでいます。柴又 100K、未来の道 1000Km 縦断リレー、味スタ 6 耐、駒澤 6 耐駅伝等、継続しているイベントも、大会が定着をしてきており、安定した資金調達の一助になっています。

魅力ある大会を開催することにより協賛金の見直し、また、当法人の事業運営にご理解をいただき寄附金や賛助会員の増員に努め、広告主の開拓等をさらに進めています。

### 4. 公益財団法人としての役割と仕組みづくりの推進

公益財団法人としての役割を理解する中で、事業運営を強固なものにする為、組織運営の効率化、重複作業の見直し等の準備をしてきました。次年度には、法人運営が強固なものになるような青写真をお見せできればと思っています。

### 5. 表彰事業

長年にわたって功労があった人達への顕彰、並びに優秀な指導者、競技者に対する表彰をおこないました。

### 6. 広報活動

会員を対象に 2 回の会報の発行、陸上競技を多くの人たちに広めるためにホームページの充実を図ってきました。

### 7. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けて

平成 29 年 9 月再編成された「東京オリンピック・パラリンピック大会準備委員会」を中心に、組織委員会・日本陸連と協議を重ね、以下の諸事業を実施しました。

平成 30 年度は 2020 年開催に向けての体制整備や研修など、一段と加速した準備が行われるものと思われ、東京陸協としては、パラリンピックも含めて、方向性をしっかりと確立したうえで、諸準備を推進することとします。

#### (1) オリンピック競技開催に向けての準備

① 運営・審判技術力を向上させることやより多くの経験を積むことを目的として、「日本 GP TOKYO Combined Events Meet 2017 (日本 GP 混成)」などの全国レベル大会を積極的に誘致し、開催しました。

② 東京都オリンピック・パラリンピック準備局が認定した「東京アスリート制度」に加えて、東京陸協が指定した「東京陸協特別強化選手」にもとづき、オリンピック出場を目指した強化策を推進してきました。

(2) パラリンピック競技開催に向けての準備

今まで、東京陸協として、パラリンピック陸上競技に参画をする機会が少なかったことから、今後、パラリンピック陸上競技をより多く経験するために「日本パラ陸上競技選手権大会」、「日本聴覚障害者陸上競技大会」を開催し、健常者の陸上競技と障害者独自のルールの違い、共通のルールを同時に経験することができました。

(3) 競技役員を選任

- ① 競技場内競技役員について、日本陸連の要請にもとづき、14名を選任し、国際審判員（NTO）に向けた準備を始めました。

今後、任用試験・各種研修を経て、国際審判員（NTO）として認定され、2020オリンピックの競技役員になる予定です。

- ②練習場・道路競技等における競技役員については、東京陸協が中心となり選出することから組織委員会・日本陸連と具体的事項について協議を重ねて参ります。

以上

平成29年度 公益財団法人東京陸上競技協会 事業報告  
スポーツ振興事業 (2018. 3. 31現在)

事業名	実施期 実施場所	事業内容(要旨)
1 陸上競技の普及振興 (定款第4条 (2) に定める事業)		
2、1 陸上競技の競技力の向上を図り、東京都を代表する選手や将来有望な選手の育成 (定款第4条 (2) に定める事業)		
①駅伝プロジェクト練習会・レース (男女駅伝の候補選手を集め練習会を実施した。)	29. 4/9 大井埠頭 29. 5/28 帝京大学八王子 29. 11/23 大井埠頭 30. 1/14 帝京大学八王子	参加者 58名 参加者 76名 参加者 34名 参加者 19名
②愛媛国体選考 (東京選手権)	29. 4/29 (土)・30 (日) 夢の島・駒沢村ビバ公園陸上競技場	トレーナーサポートトレーナー (1名2日)
③高校生テクニカルサポート (メディカルチェック・心理的サポート)	29. 5/28 日本女子体育大学	選手21名 東京都テクニカルサポート事業
④高校生テクニカルサポート (パフォーマンスサポート)	29. 5/13, 14, 20, 21 都大会 (駒沢)	選手11名 選手のパフォーマンス向上に向けた東京都による各種サポート
⑤高校生テクニカルサポート (パフォーマンスサポート)	29. 6/16-19 関東大会 (千葉)	選手6名 選手のパフォーマンス向上に向けた東京都による各種サポート
⑥高校生テクニカルサポート (コントロールテスト他)	29. 8/7 日本体育大学鶴志台キャンパス 29. 8/25 須坂市青年の家 10/21, 22 駒沢村ビバ公園陸上競技場 29. 12/10 日本女子体育大学 30. 2/11 日本体育大学鶴志台キャンパス 30. 3/11 日本女子体育大学	選手3名 長距離コントロールテスト・コンディショニングサポート 選手3名 長距離心理サポート 選手3名 短距離跳躍パフォーマンスサポート 選手9名 短距離跳躍コントロールテスト① 選手6名 長距離コントロールテスト・コンディショニングサポート 選手9名 短距離跳躍コントロールテスト②
⑦高校生テクニカルサポート (トレーニングサポート)	30. 1/13-14 NTC	選手11名
⑧愛媛国体県選考会下トレーナーサポート	29. 7/17 駒沢村ビバ公園陸上競技場	トレーナーサポートトレーナー (1名)
⑨男子駅伝強化合宿	29. 8/24-27 長野峰の原	総勢25名 女子駅伝候補選手を集めて強化合宿
⑩女子駅伝強化合宿	29. 8/24-27 長野峰の原	総勢29名 男子駅伝候補選手を集めて強化合宿
⑪東日本女子駅伝選考会	29. 9/30 世田谷	総勢55名 東日本女子駅伝選考会を実施し、選考作業を行った。
⑫愛媛国体一次強化合宿	29. 8/12-13 NTC	総勢45名
⑬愛媛国体二次強化合宿	29. 8/29-30 NTC	総勢45名
⑭愛媛国体三次強化合宿	29/9. 30 NTC	総勢42名
⑮福井国体ジュニア強化合宿	29. 12/9-10 NTC	総勢50名 次期国体候補選手を集めての強化合宿
⑯ジュニアオリンピック練習会	29. 9/24 日大	総勢95名
⑰ジュニアオリンピック派遣等	29. 10/27-29 日産スタジアム	総勢46名
⑱都道府県対抗駅伝プロジェクトレース	29. 11/23	選手34名
⑲都道府県対抗男子・女子駅伝強化合宿	29. 1227-29 千葉県富津	
⑳高体連強化合宿	29. 1225-28 千葉県富津	
㉑中体連強化合宿	29. 12. 26-27 千葉県九十九里	
㉒都道府県駅伝練習会&合宿 (女子練習会)	30. 1/6 帝京科学大学	総勢13名
都道府県駅伝練習会&合宿 (女子練習会)	30. 1/7 帝京科学大学	総勢22名
都道府県駅伝練習会&合宿 (男子2次合宿)	30. 1/5-7 千葉県富津	総勢23名
㉓福井国体強化合宿	30. 1/6-7 津郷	総勢26名
㉔東京都ジュニア強化合宿 (小・中)、栄養講習会	30. 3/26-28 山梨	総勢200名
東京都ジュニア強化合宿 (高)	30. 3/25-28 大分	総勢8名
㉕東京アスリートサポート事業	通年	総勢5名
㉖東京都強化選手サポート事業	通年	総勢5名
2、2 陸上競技の普及育成 陸上競技の体験会、講習会の開催 (定款第4条 (2) に定める事業)		
1) 陸上競技の普及講習会等		
①小学生体験教室 (4回実施)	29. 11/25: 立川4中 (131名)、' 29. 12/2: 多摩諏訪中 (50名)、 ' 30. 1/13: 江東亀戸中 (102名)、' 30. 2/3: 目黒11中 (73名)、延356名	

平成29年度 公益財団法人東京陸上競技協会 事業報告  
スポーツ振興事業 (2018. 3. 31現在)

事業名	実施期 実施場所	事業内容(要旨)
②小学生強化練習会 (6回実施)	29.11/23:府中市民競技場、'29.12/10:八王子市柚木公園陸上競技場、'30.1/21:府中市市民競技場、'30.2/11:江戸川区陸上競技場、'30.3/11:江戸川区陸上競技場、延315名	
③小学生強化合宿 (2回)	29.12.26-28:千葉県九十九里 (8名) 30.3.26-28:山梨県小瀬 (30名)	
3 陸上競技者の指導者の養成 (定款第4条 (1)、(3)に定める事業)		
①キッツアスレチックインストラクター養成講習会	29.7/16-16 府中、東陸	参加者16名
②JAAFジュニアコーチ養成講習会	29.8/18-20 NTC	参加者98名
③指導者連絡会	30.3/17 東陸	参加者26名
4 陸上競技審判員の養成と資格管理 (定款第4条 (4)に定める事業)		
1) 審判員技術・養成講習会	30.3	・2018規則改訂に伴う伝達講習会及び新規取得者講習 (大田区、武蔵野市、立川市、府中市、足立区、板橋区、大島町で開催)
2) 審判員研修会	29.4~	・有資格者の部署別研修会
	29.4~10	・新B審判員実技研修
3) 審判員の派遣研修会	29.4~	・審判員の派遣研修会の受講
4) 審判員資格管理	29.4~	・資格審査(技量)
5. 1 東京陸上競技選手権大会をはじめ各種陸上競技大会の開催及び陸上競技に関する体験会、講習会の開催 (定款第4条 (5)に定める事業)		
①第4回東京都中学生春季陸上競技会 第72回国民体育大会東京都代表選手選考会	29.4/8(土)・9(日) 八王子市柚木公園陸上競技場	参加者 2399名 審判員 延230名
②日本クラブリ TOKYO Combined Events Meet 2018 兼第80回東京陸上競技選手権大会混成競技	29.4/22(土)・23(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 日本GP47名 中学生競技会1349名 審判員 延949名
③第5回東京都中学生春季陸上競技会 兼第72回国民体育大会東京都代表選手選考会		
④第80回東京陸上競技選手権大会 兼第72回国民体育大会東京都代表選手選考会	29.4/26(土)・30(日) 江東区夢の島競技場/ 駒沢オリンピック公園陸上競技場/ 日本大学陸上競技場	参加者 911名 審判員 延998名
⑤第16回ジュニア陸上競技・チャレンジカップ	29/5.3(祝) 大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場	参加者1144名 審判員131名
⑥東京陸協小学生競技会	29.6/4(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 178名 審判員 106名 (都民体育大会陸上競技と同時開催)
⑦第31回東京リレーカーニバル 兼第80回東京陸上競技選手権大会リレー競技 兼第72回国民体育大会東京都代表選手選考会	29.6/24(土)、7/1(土)-2(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 1930名 審判員 延364名
⑧第33回全国小学生陸上交流大会 東京代表選手選考会	29.6/25(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 1031名 審判員 170名
⑨第72回国民体育大会東京都代表選手選考会	29.7/17(月・祝) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 77名 審判員 90名
⑩第29回東京ジュニア陸上競技大会 兼第48回ジュニア陸上競技大会最終選考会	29.9/9(土)・10(日) 江東区夢の島競技場	参加者 2451名 審判員 延960名
⑪第16回ジュニア陸上競技・チャレンジカップ	29.10/1(日) 大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場	参加者 906名 審判員 131名
⑫東京ウィメンズ陸上2017	29.11/5(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 878名 審判員 162名
⑬第66回 元日競歩大会 兼第80回東京陸上競技選手権競歩大会	30.1/1(祝) 神宮外苑絵画館20km競歩コース	参加者 341名 審判員 90名
5. 2 上外部団体からの要請による 各種陸上競技大会に対する選手及び審判員並びに大会運営員の派遣及びスポーツ振興事業。(定款第4条 (1) (6)、(11)に定める事業)		
①静岡国際陸上	29/5.3(祝) 静岡・エコパ	指導者、選手派遣
②東京都高等学校総合体育大会 第70回東京都高等学校対抗選手権大会 兼第72回国民体育大会東京都代表選手選考会	29.5/13(土)・14(日) 、5/20(土)・21(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場/大井	参加者 1596名 審判員 延508名
③アジア陸上競技選手権大会	29.6/1(木)-4(日) インド・ランチャー	指導者、選手派遣
④第70回都民体育大会春季大会陸上競技	29.6/4(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 402名 審判員 106名
⑤柴又100K~東京⇄埼玉⇄茨城の道~	29.6/4(日) 東京柴又100Kコース	参加者 3179名 審判員 43名
⑥アジアユース選手権	29.5/19(金)-22(月) タイ・バンコック	指導者、選手派遣
⑦第28回日本パラ陸上競技選手権大会	29.8/10(土)-11(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 566名 審判員 延598名
⑧第62回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会 兼東京都選手選考会兼春季選手権大会	29.6/18(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 214名 審判員 163名
⑨日本陸上競技選手権大会	29.6/23(金)-25(日) 大阪・ヤンマースタジアム	
⑩駒沢陸上記録会	29.6/25(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 26名 審判員 15名

平成29年度 公益財団法人東京陸上競技協会 事業報告  
スポーツ振興事業 (2018. 3. 31現在)

事業名	実施期日 実施場所	事業内容(要旨)
①第56回東京都中学総合体育大会陸上競技大会 第70回東京都中学校陸上競技選手権大会	29/7. 8 (土) - 9 (日) 江戸川陸上競技場	審判員 延236名
②U18世界選手権	29. 7/12 (金) - 16 (月) ケニア・ナイロビ	指導者、選手派遣
③第38回東京都高体連選抜陸上競技大会 兼東京都高等学校1年生大会	29. 7/16 (土)、18 (日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場/大井競技場	参加者 1185名 審判員 延252名
④第63回全日本中学校通信陸上競技東京都大会	29. 7/22 (土) - 23 (日) 八王子市上柚木陸上競技場	参加者 1166名 審判員 延232名
⑤NISHI Athletic MEET 2017	29. 7/22 (土) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 894名 審判員 130名
⑥未来への道 1000km縦断リレー	29. 7/24 (金) 青森スタート 江戸川区〜上野恩賜公園 (東京都区間コース)	参加者 1400名
⑦第6回東日本都道府県小学生陸上競技交流大会	29. 8/5 国館市	選手 24名 役員 6名
⑧第62回全国高等学校定時制通信制 陸上競技大会	29. 8/11 (金) ~ 13 (日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 988名 審判員 延460名
⑨第32回全国小学生陸上競技交流大会	29. 8/18 (金) - 19 (土) 横浜	選手 22名 役員 8名
⑩日中韓ジュニア競技会	29. 8/24 (木) - 27 (日) 茨城	指導者、選手派遣
⑪駒沢陸上記録会	29. 9/2 (土) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 22名 審判員 15名
⑫都民生涯スポーツ大会陸上競技	29. 9/3 (日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 418名 審判員 102名
⑬第70回東京都高等学校新人陸上競技 対校選手権大会	29. 9/18 (祝)、23 (祝) - 24 (日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場/ 大井・国府川中央公園陸上競技場	参加者 1545名 審判員 延452名
⑭第14回日本視覚障害者陸上競技選手権大会	29. 9/30 (土) 大井ふ頭中央海浜公園陸上競技場	参加者 54名 審判員 83名
⑮第33回東日本女子駅伝東京都代表選手選考会	29. 9/30 (土) 世田谷区陸上競技場	参加者 56名
⑯第72回国民体育大会	29. 10/6 (金) ~ 10 (火) 松山市 (愛媛)	天皇盃男女総合第2位 皇后盃女子総合第2位
⑰2017東京30K 秋大会	29. 10/7 (土) 荒川河川敷コース	審判員 65名
⑱2017グリーンリボンランニングフェスティバル	29. 10/9 (祝) 駒沢オリンピック公園	参加者 約3100名 審判員 83名
⑲400mリレーフェスティバル	29. 10/9 (祝) 東京体育館	参加者 344名 審判員 34名
⑳スポーツ祭り2017(ふれあいジョギング)	29. 10/9 (祝) 味の素ナショナルトレーニングセンター	審判員 80名
㉑第70回東京都中学校支部対抗 陸上競技対抗選手権大会	29. 10/14 (土) - 15 (日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	審判員 延258名
㉒U20、U18日本選手権	29. 10/20 (金) - 22 (日) 愛知・パロマ	指導者、選手派遣
㉓第20回関東高校選抜新人陸上競技 選手権大会	29. 10/21 (土)、22 (日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場/大井	審判員 延318名
㉔第48回ジュニアオリンピック競技大会	29. 10/27 (金) ~ 29 (日) 日産スタジアム (神奈川)	選手団派遣
㉕第65回東京都高等学校定時制通信制 総合体育大会陸上競技大会	29. 10/28 (土)、29 (日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 164名 審判員 延116名
㉖東京トライアルハーフマラソン	29. 10/28 (土) 東京トライアルハーフマラソンコース	審判員 76名
㉗2017味スタ6耐	29. 11/4 (土) 味の素スタジアム	審判員 126名
㉘第20回全国小学生クロスカントリーリレー 東京都代表選考会	29. 11/1 新河岸陸上競技場	参加者40名 審判員 86名
㉙第33回 東日本女子駅伝競走	29. 11. 12 (日) 福島県	総合7位 2時間22分35秒
㉚京王駅伝フェスティバル 2017	29. 11/12 (日) 味の素スタジアム	審判員 84名
㉛第12回世田谷246ハーフマラソン	29. 11/12 (日) 駒沢-R 2.4.6-多摩川ササガコース	
㉜都民シニア健康マラソン大会	29. 11/23 (木・祝) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 154名 審判員 96名
㉝全国小学生クロスカントリーリレー	29. 12/9 (土) ~ 10 (日) 大阪府	選手 8名 役員 2名
㉞第12回東京都小学生駅伝・ロードレース大会	29. 12/17 (日) 荒川戸田橋競技場&荒川右岸コース	参加者261名
㉟2017クリスマスin駒沢・駒沢6時間耐久レース	29. 12/23 (土・祝) 駒沢オリンピック公園	審判員 96名
㊱皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走	30. 1/14 (日) 京都府	総合14位 2時間19分38秒
㊲第19回ハイテクハーフマラソン大会	30. 1/14 (日) ハイテクハーフマラソンコース	審判員 119名
㊳天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走	30. 1/21 (日) 広島県	総合10位 2時間21分51秒



平成29年度 公益財団法人東京陸上競技協会 事業報告  
 スポーツ振興事業 (2018. 3. 31現在)

事業名	実施期日 実施場所	事業内容(要旨)
㊟2018東京30K 冬大会	30. 1/27(土) 荒川河川敷コース	
㊟第16回新宿シティハーフマラソン	30. 1/28(日) 新宿シティハーフマラソンコース	審判員 222名
㊟日本ジュニア室内大会	30. 2/3 (土) -4 (日) 大阪・大阪城	指導者、選手派遣
51) 第9回中学生「東京駅伝」	30. 2/4(日) 味の素スタジアム	審判員 31名
52) 駒沢陸上記録会	30. 2/11(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場	参加者 40名 審判員 15名
53) 第52回青梅マラソン	30. 2. 18 青梅30kmコース	
54) 東京マラソン2018	30. 2. 26 東京マラソンコース	参加者 38248名 審判員 971名
55) 立川シティハーフマラソン2018	30. 3/4 (日) 立川シティハーフマラソンコース	参加者 7444名
56) パラ駅伝 in TOKYO 2018	30. 3/4 (日) 駒沢オリンピック公園	17チーム参加 審判員 69名
57) 第71回都民体育大会冬季大会駅伝競技	30. 3/11(日) 武蔵野の森公園	参加者 168名 審判員 70名
58) 板橋Cityマラソン	30. 3/18(日) 板橋Cityマラソンコース	参加者 16226名 審判員 285名
加入団体・(協力団体主催大会)		
㊟関東学生陸上競技連盟主催大会		詳細は加入団体、協力団体に間合わせてください
㊟東京都高等学校体育連盟 陸上競技部主催大会		
㊟東京都中学校陸上競技連盟主催大会		
㊟JOC主催大会		
㊟加入団体主催大会		
6 陸上競技の記録の整理保存(定款第4条(7)に定める事業)		
1) 主催大会におけるプログラム編集と運営システムの運用及び記録確定		
2) 記録情報のサービス	随時	・東陸所有のPCの管理及びメンテナンス ・東陸主催大会の記録データの整理・記録公認申請・保存 ・東京記録等の管理及び30歳作成
7 陸上競技場の施設設備等の整備指導(定款第4条(8)に定める事業)		
1) 競技場・長距離競走(歩)路の状況把握・調査	29. 4~30. 3	
2) 競技場周囲の更新	29. 4~30. 3	
3) 競技場・長距離競走(歩)路の公認検定立会い	29. 4~30. 3	
4) 公認競技場・長距離競走(歩)路の調査・指導	29. 4~30. 3	
8 陸上競技に関連する刊行物の発行(定款第4条(9)に定める事業)		
1) 広報活動 ・平成29年度事業概要の発行 ・東陸会報「飛翔」の発行 ・東陸ホームページの更新 ・東陸主催・主管競技会のマスコミへの告知		・6月発行 ・年2回発行(10月、3月) ・情報発信、競技結果随時更新
2) 小冊子の発行・データ保存		・審判名簿(2017年度版)発行
9 陸上競技の発展に貢献した功労者等及び優秀指導者、優秀選手の顕彰(定款第4条(10)に定める事業)		
1) 東京陸上競技協会関係(平成28年度)	平成29年4月開催の東京選手権で授与	功績章(6名)、精績章(7名)、有功章(6名)、精励章(34名) 特別優秀選手賞(78名) 特別優秀指導者賞(8名)
2) 日本陸上競技連盟関係(平成28年度)	平成29年10月開催の愛媛国体で受章	秩父官章 1名: 高校生優秀指導者章(1名)、高校生優秀選手賞章(1名) 中学生優秀指導者章(1名)、中学生優秀選手賞章(1名)
3) 東京都体育協会関係(平成29年度)	平成29年5月開催の都民大会開会式で受章	生涯スポーツ優良団体: 清新JAC 体育功労賞: 遠藤 道男